

桑名市パブリックリレーション事業

第1期：2014～2017

幅広い情報発信⇒広く浅く

第2期：2018～2023

ターゲットを絞った「点」への訴求

「点」に親和性の高いインフルエンサー・媒体による訴求

ブランド推進委員会

提言

プロモーション中心からターゲットとの関係性の構築へのシフトチェンジ

海外に向けた情報発信とコンテンツの英語化

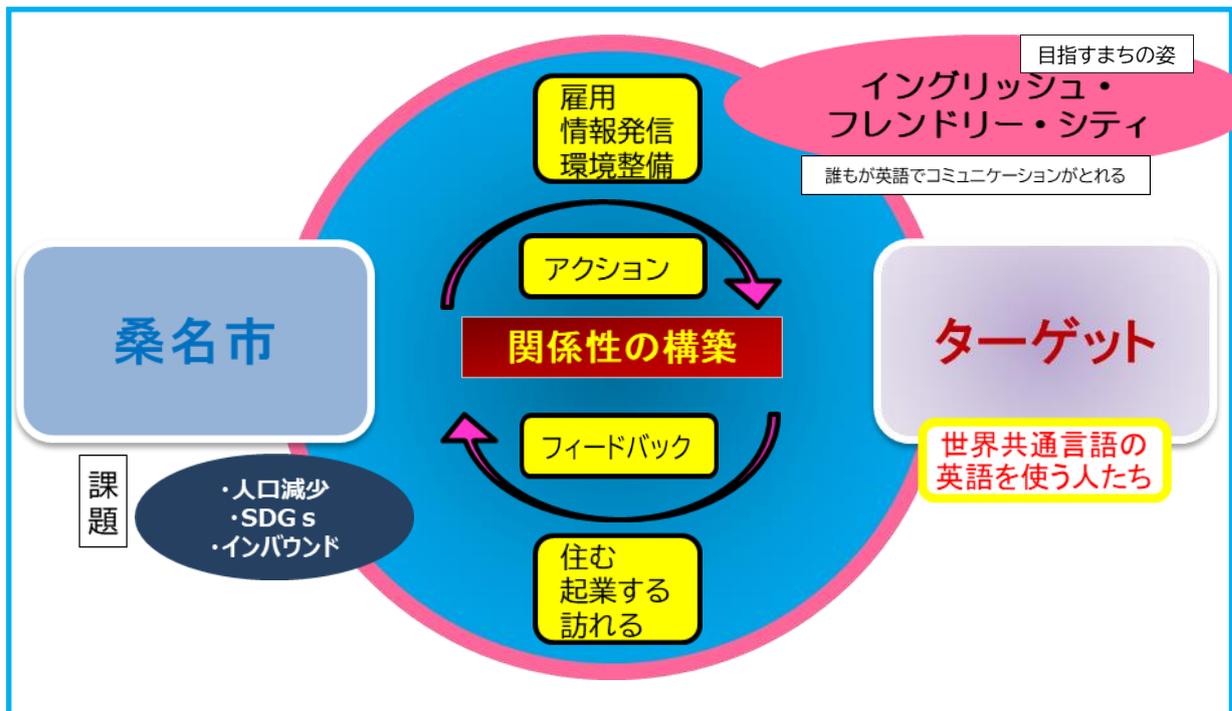
第3期：2024～2026

市の諸課題の実現に向けたターゲットとの関係性の構築

(1) 令和6年度からのパブリックリレーション事業

これまで行ってきた「桑名ブランド」のPRによって培ったノウハウを活かし、国際化、関係人口の創出、地方創生の実現を目指し、世界共通言語の英語を使う方々との関係性の構築を図って行きます。

関係性の構築にあたっては、市民の皆さんにも英語に親しんでもらう機会を増やし、誰もが英語でコミュニケーションが取れる「**イングリッシュ・フレンドリー・シティ**」を目指します。そして、桑名市が暮らしたい・訪れたい「選ばれるまち」になるように英語による情報発信も行い、定住人口・関係人口の増加を目指します。



地域経済のさらなる発展

グローバルで、持続可能なまちへ

新しいパブリックリレーションズ業務(案)

期間：令和6年度～8年度（3か年）

「イングリッシュ・フレンドリー・シティ」 誰もが英語でコミュニケーションがとれるまち

【パブリックリレーションズ業務のねらい】

桑名市の総合計画

7つのビジョンの一つ「④世界に向けて開かれたまち」をめざし、市の「国際化の推進」を図る。

- ・これからのパブリックリレーション事業を市が目指す国際化に向けたターゲットとの関係性の構築のための事業と位置づける。
- ・SDGsの観点から、桑名市の将来を持続可能なものにするために、桑名市を訪れたいまち・住み続けられるまちにするために、“世界中から選ばれるまち”を目指して人口減少対策、インバウンド対策を行う
- ・日本語や日本の習慣を押し付けるだけの多文化共生ではなく、外国人の立場やニーズにあった外国人にとっても優しい社会への変革、グローバルな視点からの行政運営を行う。
- ・これまで行ってきた「桑名ブランド」のPRによって培ったノウハウを活かし、関係人口の創出、地方創生の実現を図り、地域経済の活性化・グローバルで持続可能なまちづくりを行う。
- ・民間からの提案を受けて事業を実施し、そこから得られた成果を庁内に共有し、市の施策に反映させる。

【パブリックリレーションズ業務の内容】

「イングリッシュ・フレンドリー・シティ」・「桑名SDGs」・「桑名ブランド」をキーワードとして、桑名市の観光、物産、産業、歴史、文化、自然、ひと等の魅力を世界共通言語の英語を使う方たちに向けて情報発信し、桑名市の認知度及びイメージアップ並びに関係人口の創出を促進する。WEBを中心とした各種のメディアを駆使し、PR活動を行う。

- ①世界共通言語の英語を使う方たち向けのメディア等に対するコンタクト活動
- ②桑名市の国際化・多文化共生・SDGsの推進のためにプレスリリースを行う（月1回程度）。
- ③桑名の魅力を高め、関係人口創出のためのイベント等を年3回以上行うこと。イベントのうち1回は、「桑名本物力博覧会（通称桑名ほんぱく）」のプログラムとして実施する。
- ④国際化・多文化共生・SDGsの促進や関係人口の創出につながるよう、桑名市に対し適宜、助言・提案を行う。